

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（961））
2. 日時：平成30年5月18日 15時30分～16時55分
3. 場所：原子力規制庁 8階会議卓A
4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

山口安全管理調査官、宮本主任安全審査官、角谷安全審査官、宇田川原子力規制専門職

（技術基盤グループ シビアアクシデント研究部門）

堀田統括技術研究調査官

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 技術・安全グループマネージャー（他6名）

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、本日の提出資料を用いて、格納容器破損防止対策の有効性評価のうち溶融炉心・コンクリート相互作用について説明があった。
- (2) 原子力規制庁から、主に以下の点について指摘を行った。
 - デブリ堆積として考慮する制御棒駆動機構等のペDESTAL内構造物について、実際に想定している事象と比較して、解析で設定している条件の保守性を整理して提示すること。
 - 床ドレン配管等の侵食量について、評価方法を検討すること。
- (3) 日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・東海第二発電所 重大事故等対策の有効性評価 審査会合における指摘事項の回答
- ・溶融物量として考慮する制御棒駆動機構の設定について